

3 指導業務

県内外の企業を対象に、各研究部が行った技術相談・指導及び依頼試験の実績は以下のとおりである。

3-1 技術相談及び指導件数

(1) 件数（月別）

（単位：件）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
材料開発部	11	8	5	3	9	11	6	1	5	4	13	7	83
木材加工部	17	16	11	22	13	17	16	11	14	24	32	25	218
構法開発部	13	14	12	13	26	21	24	14	21	23	23	25	229
計	41	38	28	38	48	49	46	26	40	51	68	57	530

(2) 依頼者内訳数

（単位：件）

	企業・団体	行政機関	その他個人等	計
材料開発部	70	8	5	83
木材加工部	188	25	5	218
構法開発部	144	78	7	229
計	402	111	17	530

(3) 主な試験及び相談・指導内容

	内 容
材料開発部	・ 柱、梁の強度試験・木製品の含水率試験・土木用材の耐久性 ・ 防蟻、防腐比較試験・塗料の耐候性試験 等
木材加工部	・ 高度乾燥技術開発・集成材接着試験・煮沸剥離試験・木製学童机試験 ・ 湾曲集成材、木製トレイ開発 等
構法開発部	・ 日向ドーム集成材活用、接合試験・南郷ドーム集成材活用・日向駅舎木造化関連試験・壁床せん断試験・木製ガードレール試験 ・ 西米良木橋管理対策・宮崎ドーム設計支援、部材試験 等

3－2 依頼試験内訳

試験別	床せん断試験	壁せん断試験	実大振動試験	曲げ試験	長柱圧縮試験	小試験 試験体強度	耐候性試験	接着試験	含水率試験	収縮膨張試験	試験 家具耐久性	化学試験 (フリーエ試験)	動的ヤング 係数測定試験	成表表副本発行	合計
試験回数	7	6	1	20	2	56	5	11	18	2	4	1	3	5	141
試験体数	7	6	1	223	6	486	22	43	156	4	4	1	15	5	979
	依頼試験申請件数（試験別には重複有り）														

3－3 研究会等の開催

3－3－1 シンポジウムの開催

木材関係者や一般県民を対象に、スギに関する諸問題を幅広く検討するため「スギシンポジウム」を開催した。開催内容は以下のとおりである。

研究会・講習会名	期 日	内 容	会 場	人 員
「スギシンポジウム 2003」	3 / 10	1 基調講演 「環境保全の世紀を迎えて、九州のスギ造林は宝の山となるか」 講師 宮崎県木材利用技術センター所長 東京大学名誉教授 大熊幹章氏 2 パネルディスカッション 「地域産材活用への挑戦」 パネラー 梶山恵司氏 堀川保幸氏 五十嵐可久氏 飯村豊氏 コーディネーター 有馬孝礼氏	宮崎観光ホテル	400 名

3-3-2 木材加工技術 談会の開催

木材の 大に がる研究開発をより推進するため、林業・木材産業の関連業
等の 一的 に する とを 的として、木材加工技術 談会を開催した。

会 議 名	期 日	開 催 所	加 団 体 数	加 者 数
1 回 木材加工技術 談会	10 / 24	日 南	大学 : 1 団体 : 3 企業 : 6 行政機関 : 6	24 名
2 回 木材加工技術 談会	3 / 18	都 城	団体 : 5 企業 : 7 行政機関 : 2	28 名

3-3-3 研究成 報告会

研究の成 を広く Rするために、関係業 、行政等に対し、各研究 ームで取り
組んでいる内容について報告会を行った。

報 告 会 名	期 日	開 催 場 所	加 者 数
センターの研究成 の報告会	3 / 18	センター会議室	3 8 名

研究 ーム名	発 表 課 題	発 表 者
材料開発化学 ーム	スギとホ イトウッド等のシ アリ 比較試験について	崎 新
乾燥・材質 ーム	高温 理スギ心持ち柱材 の 乾燥について	蛭 原 啓 文
木質材料 ーム	スギラミナのせん断性能について	森 田 樹
構造強度 ーム	スギ構造材柱 柱 接合部のめり み リープについて	
構法開発 ーム	曲率 の小 な湾曲集成材を 用いた壁体の性能について	基
流 T化 ーム	原木及び製品流 の Tによる 合理化について	中 西 幸 一

3－3－4 各 研究会

研究会を て関係業 と技術的諸問題の調査研究及び 報交 を活発に行っている。

研 究 会 名	期 日	会 場	内 容	加人数
宮崎県木材利用研究会 (幹事 大)	11 / 27	センター 大会議室	講演「住宅産業の 化と木 材産業への 」 講演者：山 田 氏	6 名

3－3－5 ホーム ージ

木材利用技術センターのホーム ージを開設し、センターの研究内容の を含め、
各 の 報 を行っている。

ホーム ージアドレス <http://www.btvn.ne.jp/~miya-wurc/>

3-4 講師派遣

派遣職員	期 日	会 議 等 の 名 称	内 容	依 頼 者
大熊幹章	5/30	産経大特別講義	講義「先端材料としての木材の可能性」	産経大都城キャンパス
大熊幹章	6/14	早生樹協議会総会	講演「スギの利用に関して」	早生樹協議会
大熊幹章	8/26	富山県林産技術講習会	講演「スギを利用した新製品開発と実用化の取り組み」	富山県林業技術センター
大熊幹章	7/26	熊本県林業研究指導所業務発表会	講演「木材の利活用－国産材時代の実現に向けて」	熊本県林業研究指導所
大熊幹章	6/7	秋田県立大学木材高度加工研究所創立7周年記念シンポジウム	講演「スギ資源とその利用」	秋田県立大学木材高度加工研究所
大熊幹章	7/22	宮崎県建設技術協会研修会	講演「木材利用推進の意義と宮崎スギの利活用」	宮崎県建設技術協会
大熊幹章	10/23	大日本山林会研修会 in 青島	講演「宮崎県におけるスギ材利用技術開発の現状」	大日本山林会
大熊幹章	11/5	早生樹協議会 in 南京	講演「日本における造林木の加工利用の動向」	日中交流会 於南京林業大学
大熊幹章	12/9	早生樹協議会研究会	講演「中国ポプラ単板製品の現状と問題点」	中国ポプラ調査報告会
大熊幹章	2/3	三重県松阪木材コンビナート研修会	講演「スギ材利用の方向」	三重県農林水産支援センター
大熊幹章	2/18	森の案内人養成講座	講演「スギ材利用の方向」	宮崎県山村対策室
飯村 豊	3/3	宮崎県建築住宅センター「木造住宅セミナー」	講演「県産スギによる軸組構法の今後」	宮崎県建築住宅センター
小田久人 蛸原啓文 迫田忠芳	11/14,15	スギ心持ち構造用材の高温乾燥実務セミナー	スギ心持ち構造用材の高温乾燥について	日本木材加工技術協会九州支部他

3－4 講師派遣（つづき）

派遣職員	期 日	会 議 等 の 名 称	内 容	依 頼 者
小田久人 蛭原啓文 迫田忠芳	2/3	平成 14 年度乾燥材生産 技術者講習（北郷町）	木材乾燥について	宮崎県木材協同組 合連合会
小田久人 蛭原啓文 迫田忠芳	3/14	平成 14 年度乾燥材生産 技術者講習（東郷町）	木材乾燥について	宮崎県木材協同組 合連合会
小田久人 蛭原啓文	8/27	林業改良指導員課題研修 （林産）	木材乾燥について	県林業技術センター
小田久人	3/19	平成 14 年度広渡川流域 森林・林業活性化促進対 策事業専門委員会研修	乾燥材生産について	広渡川流域森林・ 林業活性化協議会

3－5 取 材

氏 名	期 日	題 名	主 催 名
藤元嘉安	10/28	まるごと宮崎－木質トレイについて－	NH K 宮崎
飯村 豊	11/1	県産材－アイデア満載、難題に取り組む－	宮崎日日新聞
飯村 豊	1/1	県産材を利用しよう－木のぬくもりにふれて みよう	県広報「みやざき」
藤元嘉安	2/8	経済最前線－木質トレイ	M R T